

## 令和3年10月14日開催

本会議は、Web会議システムにより開催した。

### <発言者>

### <項目・内容>

委員 長	<b>1 公安委員長挨拶</b> 「新型コロナウイルスをめぐっては、緊急事態宣言など各種の規制がようやく解除された。ホテル、カラオケ店、各種イベント等は以前の状況を取り戻し、飲食店での飲酒や滞在時間も長くなるだろう。活気が戻るのうれしいことだが、治安の面では心配でもある。警察は夜間のパトロールを強化しつつ、治安の確保に努めてほしい。島根原発2号機の再稼働については、周辺市町村の住民説明会も始まり、本腰を上げてきた感がある。県警察も緊急事態に対処するための態勢を維持し、県民の安全安心の確保に努めてほしい。」旨の発言があった。
警察 本部	<b>2 議題</b> <b>警察に関する手数料条例の一部改正（案）</b> 「銃砲刀剣類所持等取締法の一部改正に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正されることから、警察に関する手数料条例で定める手数料を、同政令で定める金額と同額に改正したい。施行期日は令和4年3月15日としたい。」旨の説明があり、原案のとおり決定した。
委員	[意見]「法律の改正も含め、広く周知してほしい。条例の改正については承知した。」
委員	[意見]「法律の改正については広報しておられると思うが、現にクロスボウを所持している人に対して漏れがないようにしてほしい。」
委員	[意見]「法律の改正については交番の広報紙でも確認した。あらゆる手段を使って周知してほしい。」
警察 本部	<b>3 報告</b> <b>(1) 反射材等贈呈式・「キラリ推進隊」委嘱式の開催</b> 「令和3年10月7日、警察本部において、反射材等贈呈式及び反射材着用推進リーダー『キラリ推進隊』委嘱式を開催した。贈呈者は全国共済農業協同組合連合会島根県本部及び島根県農業協同組合で、交通安全反射タスキ等20,000本、反射材キーホルダー10,000個、のぼり旗1,000本の寄贈を受けた。反射材着用推進リーダー『キラリ推進隊』は、反射材を率先して着用し反射材着用在り前となる環境を作り上げていくことを目的としており、

委	員	<p>現在は、県内で105団体、約72,000人に委嘱している。本年は、松江市子ども会育成協議会連合会を新規委嘱したほか、8団体を再委嘱した。」旨の報告があった。</p>	
		<p>〔意見〕「反射材の贈呈は大変ありがたい。反射材の着用によって交通事故防止に寄与していると思う。キラリ推進隊については、交通安全のために多くの方が協力しておられることを心強く思う。」</p>	
委	員	<p>〔意見〕「多くの団体を通じて多くの方に交通安全に協力してもらっており素晴らしいと思う。」</p>	
委	員	<p>〔意見〕「反射材を贈呈していただいたことで、交通事故が減っていることは素晴らしい。協力していただいている皆様に感謝する。」</p>	
警	察	本	<p><b>(2) 関係機関合同による交通事故初動対応訓練の実施</b></p>
			<p>「関係機関相互の連携を強化し、高速道路上における交通事故事案発生時における迅速・的確な初動対応を行い早期の交通流の回復を実現するため、交通事故初動対応訓練を実施した。9月17日には、浜田料金所内側プラザにおいて、西日本高速道路パトロール中国株式会社浜田基地隊員、有限会社プロアーム、高速隊浜田分駐隊員による合同訓練を実施した。訓練内容は、旗振り要領や発炎筒使用等の基本訓練、複数車線区間における交通事故の想定訓練である。また、10月5日には、安来道路鳥取県境付近において、西日本高速道路パトロール中国株式会社松江基地隊員、株式会社NIPPON、鳥取県警察高速道路交通警察隊員、高速隊松江分駐隊員による合同訓練を実施した。訓練内容は、ワイヤロープ設置区間における交通事故の想定訓練、ワイヤロープ脱着作業訓練である。相互能力等の把握及び顔の見える関係が構築でき、相互連携の一層の強化が図られた。」旨の報告があった。</p>
委	員	<p>〔意見〕「初動訓練は非常に有効である。毎年1回以上実施してほしい。」</p>	
委	員	<p>〔意見〕「高速道路における交通事故対応や救急活動は非常に大変だと思う。また夜間の交通事故対応については受傷事故に注意してほしい。」</p>	
委	員	<p>〔意見〕「高速道路での交通事故は、非常に厳しい状況での対応だと思う。二次災害がないように注意してほしい。」</p>	
本	部	長	<p><b>4 総括</b></p>
			<p>「今次の総選挙では、警察に課せられた『選挙の公正の確保』について、役割をしっかりと果たしてまいりたい。公安委員会からも適</p>

切な御指導をお願いしたい。今週になり、雲南、川本、安来の各警察署と高速隊松江分駐隊を巡視した。各警察署においては中山間地域の今夏の豪雨等による被災状況、通信手段やハザードマップ等の災害対策の状況をこの目で確認してきた。高速隊では、交通寸断も想定した今冬の雪対策について、NEXCOの幹部にもお会いして意思統一を図ってきたところである。」旨の発言があった。